

第7期介護保険事業計画実施状況モニタリング 令和元年度上半期（4～9月）

モニタリング実施日：令和元年12月24日

1. 認定者数

(人)

		計画値	実績値	差異
要介護認定率		9,833	9,853	0.2%
年齢階級	前期高齢者	973	931	-4.3%
	後期高齢者	8,860	8,922	0.7%

2. 受給者数

(人)

サービス名		計画値	実績値	差異
居宅サービス	訪問介護	7,290	7,079	-2.9%
	訪問入浴介護	1,422	1,187	-16.5%
	訪問看護	990	997	0.7%
	訪問リハビリテーション	888	997	12.3%
	居宅療養管理指導	1,014	1,506	48.5%
	通所介護	9,534	8,536	-10.5%
	通所リハビリテーション	3,384	3,067	-9.4%
	短期入所生活介護	5,508	7,542	36.9%
	短期入所療養介護（老健）	252	203	-19.4%
	福祉用具貸与	17,106	16,244	-5.0%
	特定施設入居者生活介護	1,662	1,461	-12.1%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	0	41	-
	認知症対応型通所介護	606	450	-25.7%
	小規模多機能型居宅介護	2,388	1,649	-30.9%
	認知症対応型共同生活介護	3,348	3,183	-4.9%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	726	676	-6.9%
	地域密着型介護老人福祉施設	174	170	-2.3%
	看護小規模多機能型居宅介護	696	244	-64.9%
	地域密着型通所介護	5,286	3,222	-39.0%
施設サービス	介護老人福祉施設	7,158	7,068	-1.3%
	介護老人保健施設	4,044	4,145	2.5%
介護予防支援・居宅介護支援		32,610	28,558	-12.4%

3. 給付費

(円)

サービス名		計画値	実績値	差異
居宅サービス	訪問介護	599,947,000	567,402,568	-5.4%
	訪問入浴介護	66,607,500	59,764,127	-10.3%
	訪問看護	40,557,000	38,773,541	-4.4%
	訪問リハビリテーション	27,092,500	28,586,985	5.5%
	居宅療養管理指導	7,014,000	7,758,266	10.6%
	通所介護	658,276,500	535,440,580	-18.7%
	通所リハビリテーション	136,150,000	125,339,702	-7.9%
	短期入所生活介護	1,206,588,000	1,130,767,652	-6.3%
	短期入所療養介護（老健）	20,962,000	18,930,752	-9.7%
	福祉用具貸与	195,137,000	182,275,424	-6.6%
	特定施設入居者生活介護	248,693,000	247,689,669	-0.4%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	0	4,386,481	0.0%
	認知症対応型通所介護	54,087,500	48,909,230	-9.6%
	小規模多機能型居宅介護	287,820,500	270,606,256	-6.0%
	認知症対応型共同生活介護	781,212,500	779,274,783	-0.2%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	139,694,000	130,491,956	-6.6%
	地域密着型介護老人福祉施設	46,040,000	46,887,210	1.8%
	看護小規模多機能型居宅介護	126,077,500	65,223,652	-48.3%
	地域密着型通所介護	274,376,000	188,135,593	-31.4%
施設サービス	介護老人福祉施設	1,778,028,500	1,774,243,320	-0.2%
	介護老人保健施設	1,088,409,000	1,096,473,468	0.7%
介護予防支援・居宅介護支援		437,887,500	399,061,272	-8.9%

4. 差異が生じている主な要因等について

<p>①認定者数 (状況) 前期高齢者の認定者数が計画値を下回ってきている。</p> <p>(要因) 介護を必要とする方（サービス利用者）の年齢層が上がってきている理由として、介護予防の意識が高まっていること、介護予防事業の効果が現れていることなどが考えられる。</p> <p>②受給者数・給付費 (状況) 居宅サービス…居宅療養管理指導が計画値を上回っている。平成30年度に引き続き、通所介護が計画値を下回り乖離が大きくなっている。 地域密着型サービス…小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護が計画値を下回っている。 密着型通所介護が計画値を大きく下回っている。 施設サービス…概ね計画どおりに推移している。</p> <p>(要因) 居宅サービス…居宅療養管理指導の増加は、サービス提供事業所の開設が見込みよりも進んだことが一因と考えられる。 通所介護の減少は、要支援者が増加し、要介護者が減少していることにより、総合事業の通所型サービスを利用する方が増えていることが一因と考えられる。 地域密着型サービス…下回っているサービスは事業所の整備の遅れ等の影響によるものと考えられる。 密着型通所介護については、通所介護と同様の要因が考えられる。 施設サービス…計画どおりの整備が進んでいる。一人当たりの給付費は増加傾向にある。</p>
